

つなげよう つながろう ふたばのわ



コミュニティ情報紙「ふたばのわ」は、
町民皆さんとそれを支える全ての人を巻き込み
それぞれの思いやあらゆる情報に
共有・共感できる紙面をめざしています。
月に一度、ふたばのわのページをめくって
みんなで一緒に笑顔になりませんか。

表紙はインフィオラータ(3月11日開催のフラワーズエールより)

- ▶ 双葉町からのありがとうを全国へ伝えませんか(P2~3)
- ▶ ふくしまあじさい会 & 県北ふたば会交流会(P4) ▶ スマイルフォト・情報掲示板(P5)
- ▶ 3月11日 それぞれの思い それぞれの過ごし方(P6) ▶ 町からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・ブログふたばのわ(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：ふたさぼ広報チーム(双葉町復興支援員)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>





双葉町からの ありがとうを 全国へ伝えませんか

平成29年8月「双葉町からのありがとうを全国へ伝えませんか」という呼びかけとともに「双葉町ありがとうメッセージプロジェクト」が開始しました。

プロジェクトを企画したのは双葉町復興支援員。これまで双葉町を支えてくださった方々に「ありがとう」を届けることができないだろうか。そんな思いからこのプロジェクトは企画されました。

避難先でお世話になった方への感謝。不安を和らげてくださった方への感謝。改めて伝えたい「ありがとう」や、伝えてあげたい「ありがとう」はありますか？と呼びかけながら、支援員は約5カ月間、町のイベントや町民の皆さんが集まる場所へ取材に伺い、メッセージ収集に努めました。その結果、約50人の方々からお話を伺うことができました。

以下はそのメッセージの一部を抜粋したものです。



川俣町の皆さんへ

最初の避難先となった川俣町では、地元住民が炊き出しをして双葉町民を迎え入れてくれました。『川俣町の皆さんも大地震の直後で混乱していたはずなのに…』同じ被災者であるにもかかわらず心をつくしてくれた川俣町民の皆さんへのありがとうは最も多く聞かれました。

川俣町に避難した時、地元の方が**おにぎり**を差し入れてくれた。そのおにぎりの味が今でも忘れられない。感謝の気持ちでいっぱい。

— 山田兼也（下条）

川俣町に避難した日は雨が降っていた。地元の人が、自分の家から**ストーブや灯油**を運んで来て体育館の中を暖めてくれた。自分の家も寒かっただろうし、被害があったのではないか。

— 高野芳彦（山田）

川俣町の小学校の近くの家の方が、自宅に自分で作ったという**露天風呂**があり、掃除して入れてくれたのが忘れられない。ほんとに感謝します。

— 横山藤夫（新山）

川俣町での避難生活中、体調を崩してお風呂に入れなかった。近くの商店の方が「お風呂に入っていないならお湯で体を拭きなさい」と**温かいタオル**を用意してくれた。化粧品なども分けていたありがたいがかった。

— 平岩節子（両竹）

避難先でお世話になった方へ

避難した先々で思いがけず受けた親切や温かい言葉、それをきっかけに生まれた交流に支えられ『自分も頑張らなければ』と奮起した方は少なくありません。

避難先の人たちが「大変だったね」と話を聞いてくれることは避難者にとっては救い。

— 館林孝男（細谷）

ダルマ市を開催するにあたって、知らない土地で何をどうしていいかわからなかった。**勿来の商店会、植田の商店会、錦町の皆さま**に色々協力してもらって、今こうやって双葉の行事を開催することができている。感謝しかありません。

— 中谷祥久（長塚一）

旧騎西高校に避難中、**清里のペンション**に招待を受け、たいへんなもてなしをしていただいた。その後、避難所にお肉を差し入れてくれてご馳走にもなった。その節は本当にありがとうございました。

— 作本信一（下条）

県内の避難所となった**リステル猪苗代**では、三度三度食べさせてもらいお風呂に入ることもできた。すごく助かりました。

— 土田美恵子（長塚一）



九州の修道院の方が、安積の農協を通じてさくら仮設住宅に月に一度お米を一俵送ってくれていた。あとになってお米代を工面するのが大変だったと聞いた。また、**近所の農家の方が**、仮設住宅全世帯に新鮮な野菜を届けてくれたこともある。本当にありがたかった。

— 吉田サダ子（長塚二）

旧騎西高校から加須市中ノ目の雇用促進住宅に避難。**自治会長さん**がいろいろと声をかけて優しくしてくれた。近所の人とトラブルになった時も間に入ってくれて、いつも見守られているような感じがした。

— 田中順子（郡山）

町民から町民へ

慣れない土地での避難生活。不安を和らげ、励まし支えてくれたのは、ほかでもない周囲の**双葉町民**という人もいました。町

民から町民へのありがたうは、町民同士の絆そのもの。これからの**双葉町の復興**を支える礎です。

2年ほど具合が悪い時期があり、通っていた手芸教室を辞めると言ったら「続けてください」とみんなが言ってくれた。車で運転して通えないと言ったら今度は送り迎えもしてくれた。譲り合う、分け与えるは双葉の人間性だと思う。手芸を教える側だが、いつもやらせていただいているんだと思える。**感謝しかない。**

— 大内ちづ子（長塚二）

月1回のママサロンがとても楽しみ。今回はみんなこういう顔をしてくるかな、元気かなとすぐく気になったり。ちょっとした会話なのに「元気をもらいました」などと言われると自分も元気になる。ママサロンに**ありがたうございます。**

— 大住明美（羽鳥）

ありがとうメッセージは
YouTube双葉町公式
チャンネルで配信中



ありがとうメッセージは、平成30年3月12日よりYouTube双葉町公式チャンネルで配信されています。パソコンでご覧になる方は、双葉町公式ホームページより「YouTube双葉町公式チャンネル」にアクセスしてください。タブレットでご覧になる方は、ふたばアプリトップ画面の「ふたばチャンネル」をタップし、ありがとうメッセージからご覧ください。

ありがとうメッセージは随時募集しており、今後もまとも次第順次配信していく予定です。ありがとうメッセージについては下記にお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 双葉町復興支援員（一般社団法人 ONE福島）
TEL:080-2847-0073(西元) TEL:080-2847-0074(小松)



様一行会さいあじしまふく迎歓

ふくしまあじさい会 県北ふたば会交流会

3月9日、サンライフ福島でふくしまあじさい会と県北ふたば会の交流会が開催されました。

この日は低気圧が日本付近を発達しながら進んだことで春の嵐をもたらしいく天気でしたが、ふくしまあじさい会の一行35人が到着すると、会場はたちまち晴れやかな笑顔で満たされました。

会場には「歓迎ふくしまあじさい会御二行様」と書かれた手作りの横断幕が掲げられていました。また会の冒頭には、県北ふたば会の鴻崎太郎会長から「相双地区の市町村民同士が交流することは大変

嬉しく意義のあることです。時間いっぱいまで楽しんでください」と歓迎の言葉が述べられました。

ふくしまあじさい会は、栃木県下野市周辺に避難した方々が地元ボランティアの支援を受け結成したコミュニティグループで、平成23年から活動を開始しています。現在会員数は46人。会員の出身地は、双葉町のほか南相馬市、浪江町など様々です。定例交流会のほか、ボランティア作業や農業体験などで懇親を深め楽しく活動しています。

今回は、県内避難者との交流を目的に県北ふたば会を訪れました。

この日を心待ちにしていたという、ふくしまあじさい会の大沼ノブさん（長塚）は息子の武さんと参加。「以前近所に住んでいた方にお会いし、嬉しくて思わず抱きついてしまいました。今日は最高に幸せです」と声を弾ませていました。

また、浪江町や富岡町など他市町村の皆さんも初めは緊張した様子でしたが、そこは双葉郡同士。すぐに共通の話題を見つけ、市町村の垣根を越えて親睦を深めていました。

昼食をはさんで午後は、それぞれの会の活動報告や帰還に関する意見交換を行いました。同郷のよしみで本音を語り尽くせる時間はどの参加者にとっても貴重で有意義なものだったようで、閉会のあとも会場のいたるところで話し込む姿が見られました。



ふたさぼのわ スマイルフォト



3月1日(木)
ふたば幼稚園、双葉小・中学校
ありがとう集会(いわき市)

3月9日(金)
ふくしまあじさい会 &
県北ふたば会交流会
(福島市)



3月13日(火)
双葉中学校卒業式
(いわき市)

情報掲示板

自治会イベント

県北ふたば会(福島市)

4/27(金) ▶バスで行く花見(猪苗代・喜多方方面)

双葉町埼玉自治会(加須市)

4/30(月) ▶加須市騎西藤まつり参加

イベント(その他)

※3月20日時点の情報です。

▶加須市騎西藤まつり

日時:4/29(日)~5/6(日) 場所:玉敷公園

※双葉町埼玉自治会、はなみずき婦人学級、双葉町相馬
流れ山踊り保存会などが4/30(月)に出演する予定です

▶加須市民平和祭

日時:5/3(木) 会場:利根川河川敷公園ほか

※双葉町観光協会が出店する予定です

3月11日

それぞれの想い それぞれの過ごし方

いわき市 東日本大震災

双葉町追悼式

いわき市では町主催の追悼式が開かれ、東日本大震災で犠牲となられた町民の遺族と町関係者が参列しました。会場には小さな子どもたちの姿もあり、家族とともに慰霊碑に花を手向けていました。震災や原発事故を経験した者が、それらの教訓を次世代に向けてどう発信するかも大きな課題です。



加須市 東日本大震災 追悼式

800人以上の町民が避難する埼玉県では、双葉町埼玉自治会が中心となり祈りを捧げました。



双葉町 山田のじゃんがら念仏踊り

今年は、復興産業拠点整備事業が進む中野地区で奉納されました。



東日本大震災の発生から7年が経過しました。様々な思いがよぎる3・11。この日は、各地で様々な行事が催され、震災で犠牲になられた方々を追悼しました。町民約2000人が避難するいわき市では、町主催の追悼式や町民グループによる追悼行事が開催されました。また、埼玉県加須市では、双葉町埼玉自治会とはなみずき婦人学級による東日本大震災追悼式を行いました。いずれの会場も、家族や友人、知人を伴い多くの方が訪れました。

いわき市 フラワーズエール

いわき市南台応急仮設住宅第3集会所では、双葉町の四季をイメージした花絵が制作されました。花絵には東日本大震災で犠牲となられた方への追悼の意といわき市南台への感謝が込められています。

同会場では夢ふたば人による追悼式も開かれ、震災に対する想い、故郷への想いを会場にいる人全員で共有することができました。



町からのお知らせ

ふたばと帰還通行カード

申し込みはお早めに

「ふらさと帰還通行カード」申込受付中

平成30年7月1日からの高速道路無料措置の適用方法の変更に伴い「ふらさと帰還通行カード」が必要となるため、町ではカードの利用申し込みを受け付けています。

カードがお手元に届くまでには、申し込みから2カ月程度かかります。5月以降に申し込みの場合は、お届けが7月以降となる場合がありますので、お早めの申し込みをお願いします。

なお、カードをお持ちでない場合、平成30年7月1日以降の高速道路通行料金は有料となります。

利用申込書は、ふたばのわ第51号(1/15発行)に折り込みしていますが、申込用紙が不足または紛失した場合などは再送付いたします。



対象となる方

震災時に、双葉町に居住していた方で、双葉町が発行する被災証明書をお持ちの方

窓口での申込

いわき事務所、郡山支所、埼玉支所の3カ所(受付時間:8:30~17:15)
※郵便による受付は、いわき事務所のみとなります。

問い合わせ先

カード発行に関すること ▶ NEXCO東日本お客さまセンター

☎0570-024-024

申し込みに関すること ▶ いわき事務所総務課

☎0246-84-5201

郡山支所生活支援課

☎024-973-8090

埼玉支所生活支援課

☎0480-53-7780

弁護士相談窓口

中間貯蔵施設に係る弁護士相談窓口のご案内(4月)

◆開催場所及び開催日時

実施場所	開催日時
双葉町 いわき事務所	4月26日(木) 午後2時~午後5時
双葉町 郡山支所	5月24日(木) 午後2時~午後5時

◆申し込み方法

事前申し込みになりますので下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

◆申し込み・問い合わせ先

建設課 復旧復興係 ☎0246-84-5209

受付時間 午前8時30分~午後5時15分(平日)

情報

6月1日~10日は「電波利用環境保護周知啓発強化期間」です。

不法電波は人命に関わる重要無線通信を妨害して、私たちの生活を脅かします。

電波の混信・妨害についての
お問い合わせは

〒980-8795 仙台市青葉区本町3-2-23

総務省 東北総合通信局 相談窓口

☎022-221-0641

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/>



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成30年3月23日

- ① 福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.12~0.20
- ② 郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.11~0.23
- ③ 郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.09~0.62
- ④ 郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.14~0.15
- ⑤ いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.05~0.06
- ⑥ 白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.08~0.11
- ⑦ 福島市 県北保健福祉事務所 ……0.15
- ⑧ 郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.09
- ⑨ 白河市 県白河合同庁舎 ……0.07
- ⑩ 会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.05
- ⑪ 南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.04
- ⑫ 南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.07
- ⑬ いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成30年 3月23日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.54
新山	新山公民館	—	0.36
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.32
新山	双葉南小学校	—	0.41
新山	双葉中学校	—	0.19
新山	県立双葉高等学校	—	0.23
新山	中央公園	—	0.42
下条	双葉総合公園	2.60	0.73
下条	双葉町役場	—	0.26
郡山	郡山公民館	1.48	0.41
細谷	細谷公民館	2.31	0.47
三字	三字公民館	2.53	0.82
山田	山田農村広場	24.47	4.72
石熊	石熊公民館	12.10	2.26
長塚	双葉町体育館	6.25	1.44
長塚	長塚二公民館	3.26	0.36

地区	地点	平成24年 4月1日	平成30年 3月23日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.78
長塚	町西住宅	—	0.22
長塚	JAふたば北部営農センター	—	5.28
長塚	双葉北小学校	—	1.45
長塚	ふたば幼稚園	—	1.35
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.38
長塚	双葉町児童館	—	0.29
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.55
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.46
寺松	寺松公民館	3.46	0.99
渋川	渋川公民館	1.48	0.42
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.90
中田	中田公民館	0.77	0.22
両竹	両竹公民館	0.54	0.09
浜野	浜野公民館	0.34	調整中

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>



本号でも特集された「ありがとうメッセージ」もうご覧になりましたか。

この動画は、震災発生からこれまでの7年間で全国各地から頂いているご支援に対し、町民皆さんの感謝の気持ちを発信するものです。メッセージ収集は今後も継続していきますので、まだ伝えられていない「ありがとう」がある方、改めて「ありがとう」を伝えたいという方は町復興支援員までお気軽にお声がけください。

(広報)小松 友紀

文字と写真でコミュニケーション ブログふたばのわ



町復興支援員は、本紙や動画のほかに、「ブログふたばのわ」で情報発信しています。

ブログでは、各地の話題や注目情報について、取材等を担当した支援員が紹介しています。

ブログふたばのわは、町公式ホームページのトップページのアイコンから(図左)、タブレットをお持ちの方は、インターネット便利帳ボタンから(図右)ご覧いただけます。